

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 平成 29 年度末の校内調査について、学校が認知したいじめについて、解消した割合は 100% であった。また、平成 29 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）と答える児童の割合は 90% であった。さらに、平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う児童数は 0 名であり、不登校児童の割合は 0.7%（1 名）であった。
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点は 102 点であり、総合学力診断 C（0～54%）の児童は 6%、A（75～100%）の児童は 60% であった。（いずれも 3～6 年平均）また、同調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は 73% であった。さらに、平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において課題である長座体前屈の平均記録は、男子 34.21cm、女子 35.67cm であった。

子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現に関して、大きな問題点はないが、さỏi合わせ登校時の連絡なく遅れる児童が固定化傾向にある等、課題が残っている。一方、心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上に関して、経年調査からは大きな問題点はないが、個人差が大きく今後も継続して指導に取り組んでいくとともに学習活用能力をはぐくんでいく必要がある。体力・運動能力、運動習慣調査からは、男子は上体起こし・長座体前屈・反復横とび・立ち幅とび以外、女子は握力以外、全国平均を下回っている等の課題がみられる。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・校内調査において、学校が認知したいじめについて、解消した割合 100% を維持する。
- ・小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合 90% を維持する。（29 年度 90%）
- ・校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童 0 名を維持する。
- ・校内調査において、不登校になる児童の割合を 0 に近づける。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における標準化得点を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。（29 年度 3 年:100、4 年:100.5、5 年:106.3）
- ・小学校学力経年調査における、正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント（1 人）減少させる。
<29 年度 3 年:3.2%（1 人）、4 年:10.5%（2 人）、5 年:4.5%（1 人）>
- ・小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 10 ポイント（2 人）増加させる。
<29 年度 3 年:6.5%（2 人）、4 年:10.5%（2 人）、5 年:13.6%（3 人）>
- ・小学校学力調査における「学級との友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合 80% をめざす。（29 年度 73%）
- ・全国体力・運動能力、運動習慣調査において、課題である長座体前屈の平均の記録を、男女共に全国平均以上をめざす。（29 年度全国 34.21cm（男） 35.67cm（女））

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- ・平成 30 年度末の校内調査において、学校が認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- ・平成 30 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合 90%を維持する。（29 年度 90%）
- ・平成 30 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度維持する。（29 年度 0%）
- ・平成 30 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度維持する。（29 年度 0.7%）

学校園の年度目標

- ・学校生活アンケート（本校実施）の「自分には良いところがあると思うか」の肯定的回答の割合について 80%を維持する。（29 年度 86%）
- ・学校生活アンケート（本校実施）「高津の地域が好き（どちらかといえば好き）」「豊寿会や黒門市場・文楽など地域の人との学習が好き（どちらかといえば好き）」の値について 90%を維持する。（29 年度 96%、92%）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・平成 30 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。（29 年度 3 年:100、4 年:100.5、5 年:106.3）
- ・平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント（1 人）減少させる。
<29 年度 3 年:3.2%（1 人）、4 年:10.5%（2 人）、5 年:4.5%（1 人）>
- ・平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 10 ポイント（2 人）増加させる。
<29 年度 3 年:6.5%（2 人）、4 年:10.5%（2 人）、5 年:13.6%（3 人）>
- ・平成 30 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%に近づける。（29 年度 73%）。
- ・平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、課題である長座体前屈の平均の記録を、男女共に全国平均以上をめざす。

（29 年度全国 34.21cm<男>35.67cm<女>）

学校園の年度目標

- ・小学校学力経年調査において、正答率を総合した値を本校全児童の傾向として把握し、100 点以上維持する。（29 年度 102 点）
- ・学校生活アンケート（本校実施）の「学習中に発表するのが好きか」について、肯定的回答の割合を前年度以上にする。（29 年度 61%）
- ・学校生活アンケート（本校実施）において、児童の早寝早起きに対しての肯定的回答の割合を前年度以上にする。（29 年度 77%）
- ・「さそい合わせ登校時に連絡なく遅れる児童数 月間のべ人数」集計結果について、前年度を越えない数とする。（29 年度 63 名）

大阪市立高津小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 平成30年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合90%を維持する。(29年度 90%) 平成30年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う児童数を前年度維持する。(29年度 0%) 平成30年度末の校内調査において、不登校になる児童の割合を前年度維持する。(29年度 0.7%) <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活アンケート(本校実施)の「自分には良いところがあると思うか」の肯定的回答の割合について80%以上にする。(29年度 86%) 学校生活アンケート(本校実施)の「高津の地域が好き(どちらかといえば好き)」「豊寿会や黒門市場・文楽など地域の人との学習が好き(どちらかといえば好き)」の値について90%以上にする。(29年度 96%、92%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策番号1 施策名 特別活動】 たてわり活動(集会・清掃)を行う中で、リーダーシップ・フォローアシップを育成するとともに、異年齢交流による人間関係を築く。</p> <p>指標 児童アンケート「あなたは、たてわり活動で協力して活動していますか」について、積極的回答の割合80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【施策番号2 施策名 道徳教育の推進】 「生活ふりかえりカード」などを活用して、自分や友だちの良いところを見つけることができるようにして、よりよい生活を送ることができるようとする。</p> <p>指標 集計結果を学期に一度、学校だよりに掲載する。</p>	
<p>取組内容③【施策番号3 施策名 大阪らしさを活かした取組】 ふれあい学習を実施、地域からの有用感・期待感を感じることができるようにする。</p> <p>指標 年間指導計画により各学年1回以上実施する。</p>	
<p>取組内容④【施策番号4 施策名 大阪らしさを活かした取組】 6学年で子ども文楽学習に取り組み、成果を全校児童・保護者・地域の方々に披露する。</p>	

<p>指標 子ども文楽学習において、のべ 120(20 回×6 人) 回の技芸員の指導を仰ぐ。</p>	
<p>取組内容⑤【施策番号 5 施策名 安全教育の推進】 防犯教室、交通安全教室を警察と連携して実施する。また、火災、震災、津波を想定した避難誘導、および避難所開設・保護者への引き渡しなどの避難訓練を地域と共に実施する。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 避難訓練・防犯教室・交通安全教室を年 3 回実施し、児童のふり返りカードにおけるめあての達成状況の割合を 90%以上にする。内 1 回は土曜授業で行う。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立高津小学校 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。(3 年:100、4 年:100.5、5 年:106.3) 平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント(1 人)減少させる。<29 年度 3 年:3.2%(1 人)、4 年:10.5%(2 人)、5 年:4.5%(1 人)> 平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 10 ポイント(2 人)増加させる。<29 年度 3 年:6.5%(2 人)、4 年:10.5%(2 人)、5 年:13.6%(3 人)> 平成 30 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%に近づける。(29 年度 73%)。 平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、課題である長座体前屈の平均の記録を、男女共に全国平均以上をめざす。 <p style="text-align: right;">(29 年度全国 34.21cm<男>35.67cm<女>)</p> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校学力経年調査において、正答率を総合した値を本校全児童の傾向として把握し、100 点以上維持する。(29 年度 102 点) 学校生活アンケート(本校実施)の「学習中に発表するのが好きか」について、肯定的 回答の割合を前年度以上とする。(29 年度 61%) 学校生活アンケート(本校実施)において、児童の早寝早起きに対しての肯定的回答の割合を前年度以上にする。(29 年度 77%) 「さそい合わせ登校時に連絡なく遅れる児童数 月間のべ人数」集計結果について、前年度を越えない数とする。(29 年度 63 名) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策番号 1 施策名 言語力や論理的思考能力の育成】</p> <p>国語・社会・理科・生活を中心に活用の力を向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 毎月、学習プリントを使って活用力の向上を図る。</p>	
<p>取組内容②【施策番号 2 施策名 言語力や論理的思考能力の育成】</p> <p>声を出す機会を増やすとともに、学習成果の発表の場を持つ。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 学期に 1 回程度、英語の集会や、よびかけ(二人三番叟、6 年生に送ることば)を行うとともに学習発表会で成果を披露する。</p>	
<p>取組内容③【施策番号 3 施策名 その他】</p> <p>国語科・算数科で、全教員により、基礎・基本に絞ったスタディタイム(補充学習)</p>	

を実施し、学習内容の定着を図る。	(カリキュラム改革関連)	
指標 年間 25 回実施する。		
取組内容④【施策番号 4 施策名 その他】 家庭学習習慣の向上を図る。(カリキュラム改革関連)		
指標 ふりかえりを年間 5 回行う。		
取組内容⑤【施策番号 5 施策名 授業研究を伴う校内研修の充実】 定期的に授業研究を実施し、指導力の向上に取り組む。(カリキュラム改革関連)		
指標 算数科を中心とした授業研究を年 8 回以上実施し、その成果を区で発表する。		
取組内容⑥【施策番号 6 施策名 体育科の授業の充実】 週 1 回、体育学習時に長座体前屈の力を高める運動(柔軟性を高める運動)をとり入れる。(カリキュラム改革関連)		
指標 各学年、学期に 1 回長座体前屈の記録会を行う。		
取組内容⑦【施策番号 7 施策名 体育的活動の充実】 外遊びを奨励するとともに週 1 回全校一斉(学級単位)で「みんな遊び」を実施することにより、運動の機会を増やす。(カリキュラム改革関連)		
指標 学校生活アンケート「進んで外で遊んだり運動したりしているか」の肯定的割合を 29 年度(78%)以上にする。		
取組内容⑧【施策番号 8 施策名 体育的活動の充実】 なわとび・かけ足週間の期間を設け体力の増強を図る。(カリキュラム改革関連)		
指標 1 学期に 1 週間、2 学期に 2 週間、3 学期に 2 週間実施する。		
取組内容⑨【施策番号 9 施策名 健康な生活習慣の確立】 早寝早起き朝ごはんの意義を「生活・学習ふりかえりカード」や保健だより等で、児童・保護者に啓発する。(カリキュラム改革関連)		
指標 学期に 1 回、学校だよりや保健だより等で保護者に啓発する。		
取組内容⑩【施策番号 10 施策名 健康な生活習慣の確立】 爪切り等、身体の清潔についての意識の向上を行う。(カリキュラム改革関連)		
指標 毎週火曜日に爪切り検査を実施し、その都度、児童・保護者への啓発を行う。		
取組内容⑪【施策番号 11 施策名 健康に関する現代的課題への対応】 さそい合わせ登校時の連絡なく遅れる児童数 月間のべ人数を集計し、児童の意識向上と保護者への理解・協力への手立てとする。(カリキュラム改革関連)		
指標 平成 30 年度末で、前年度月間のべ人数 63 名を超えない数値とするとともに学期に 1 回学校だよりで知らせる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		